

開催日

2019年5月17日(金)・18日(土)

姫島村

国東市



西子寺山門



第33回 地域医療現地研究会

ケベス祭り

豊の国おおいたで 人口減少社会に立ち向かう 地域づくりを考える

～仏の里とジオパークの島からオンリーワンの地域包括ケアを発信!～

会場

ホテルベイグランド国東

キツネ踊り

研究施設

国東市民病院
姫島村国民健康保険診療所

主催

公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会
公益社団法人国民健康保険中央会
全国国民健康保険診療施設協議会大分県支部
大分県国民健康保険団体連合会

アサギマダラ



国東市民病院



国東市民病院は、仏の里と呼ばれる国東半島のほぼ半分を占める国東市の南端、大分空港の傍に位置します。

当院は、昭和32年5月に開設された安岐町国民健康保険病院を前身とし、昭和51年4月に4町1村の広域圏立の東国東地域広域国保総合病院として現在地に新築移転、平成18年には町村合併により国東市民病院と名を改め、現在に至っています。

病床数は安岐病院発足時の35床が、平成7年には最大291床となりましたが、建物の老朽化と耐震化のために新築・改築事業を行ない、平成24年度からは208床となっています。現在の病床種別は一般107（感染症4）床、地域包括ケア病棟51床、回復期リハビリ病棟50床となっています。

空港所在地ながらも国東市は急速に高齢化・過疎化が進行しており、高齢化率は40%を超えています。当院は平成16年から医療崩壊に立ち向かいながら地域医療を守ることはもちろん、地域包括ケアシステムの推進を病院の旗印としてきました。具体的には、急性期から回復期までの医療を担うとともに在宅医療にも力を入れ、地域多機能病院となっています。また、保健・介護・医療の実務者による国東地域包括ケア推進会議という地域連携システムを構築し、その推進役としても大きな役割を果たしています。

これからも広域化した僻地において地域医療を守りながら、官民、職種を越えた連携によるオンリーワンの地域包括ケアシステムを推進してまいります。



姫島村国民健康保険診療所

姫島村

両子寺

国東市

ホテルベイグランド国東

国東市民病院

ケベス祭り (国東市)



国東市国見町榊来の榊来社（岩倉八幡社）で、毎年10月14日に行われる秋の大祭です。火の粉散らす天下の奇祭で、起源や由来は一切不明の火祭り。

壮観な火の行事は数時間に及び、火の粉を浴びると無病息災が叶うと伝えられています。



両子寺 仁王像 (国東市)

両子寺は1300年の歴史を持つ国東半島の天台宗総持院。山岳修行の道場。祈願の寺。山門に続く石段の両脇には、江戸時代後期の作とされる国東半島最大級の石造の仁王像が立っています。広々とした境内には、初夏は新緑、秋は大分県内でも有数の紅葉が楽しめます。

姫島村国民健康保険診療所



昭和32年4月、姫島村が国民健康保険制度を発足したのを機に、同年7月、姫島村国民健康保険診療所が開設されました。また、昭和44年には歯科を開設、昭和56年には村民の増大する医療ニーズに応えるため、老朽化した施設の建替えと医療機器等の整備を行ってきました。

医師の確保については、大変な苦勞を重ねてきましたが、幸い無医村になることはなく、昭和58年からは、大分県による自治医大卒業医師の派遣が開始され姫島村にも1名派遣、さらに同年、地域医療に情熱を燃やす松本孝医師が東京から着任したことにより、念願の複数医師体制が実現しました。

松本医師の発案で、医療だけでなく、村民の健康を守るための保健予防活動が行われるようになり姫島村の「地域包括ケアシステム」が始まりました。

平成3年に診療所に隣接して全国初の高齢者生活福祉センターを開設。診療所建物中には地域包括支援センター、健康推進課が設置されており、平成13年には血液透析が開始され、大分大学からの派遣医師による眼科診療も月1回行っています。

松本医師の後を継いだ三浦所長のもと、診療所を中心にした「地域包括医療・ケア」を実践してきたことにより、姫島村は男女ともに平均寿命、お達者年齢（大分県の発表する健康寿命）が大分県内18市町村中で最長という健康長寿の村となっています。

キツネ踊り (姫島村)



姫島盆踊りは、鎌倉時代の念仏踊りから派生したものといわれ、伝統踊りと創作踊りがあり、地区の子供たちや一般の人々によって踊り継がれています。

なかでもキツネ踊りは、姫島盆踊りを代表する子供たちの踊りで、独特なキツネの化粧とユーモラスなしぐさで人気を集めています。

毎年8月14日から16日までの3日間開催。



アサギマダラ休息地 (姫島村)

アサギマダラは、渡りをする優雅な蝶で、5月上旬から6月上旬頃、姫島のみつけ海岸のスナピキソウの蜜をもとめて、南の地から渡来し、休息したのち、涼しい北の地に向かって飛び立ちます。10月中旬頃には、世代を交代した蝶が、北から暖かい南の地へと向かう途中で、姫島の金地区のフジバカマの蜜をもとめて、姫島で休息します。